

# 「八戸平原地区の優良経営体」

## 青森県・岩手県 八戸平原地区〔国営総合農地開発事業〕

八戸平原地区は、青森県八戸市、階上町、岩手県軽米町の1市2町にまたがる受益面積約1,864haの畑作地帯です。地区内の農業は、従来より野菜を主体に複合経営が営まれていましたが、農家の経営規模は零細で耕地が分散しており、また、農道及び畑地かんがい施設の未整備等から生産性の低い農業経営を余儀なくされていました。そこで、山林等の未墾地の農地造成と既耕地の区画整理及び畑地かんがい施設の整備を目的に、昭和51年度に事業着工し、平成15年度に完了した地区です。

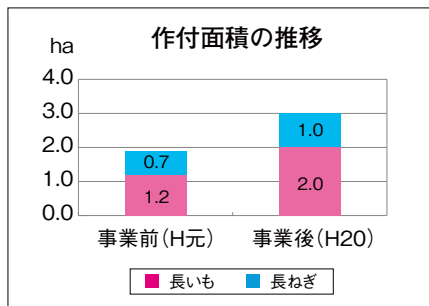
当該地区の優良経営体を紹介します。

### 〔事例1〕青森県八戸市の優良経営体

#### ○事業を契機とした経営転換のポイント

事業実施前から栽培している長いも、長ねぎの経営について、国営土地改良事業の畑地かんがい整備により設置された共同給水栓により水不足が解消され、効果的なかん水が実現でき、事業実施前と比べて、長いも、長ねぎともに収量が1～2割向上しました。

なお、長いもはJAから全国へ、長ねぎはJAから東京、横浜及び名古屋の市場に出荷されています。



#### 収量の推移 (Yield Trend) kg/10a

	事業前 (H元)	事業後 (H20)
長いも	2,200	2,600
長ねぎ	2,400	3,000



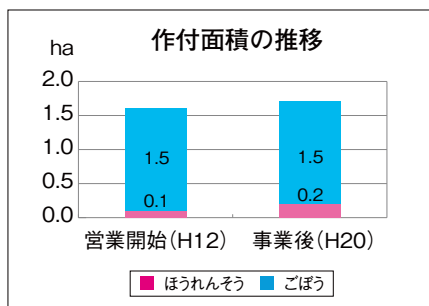
### 〔事例2〕岩手県軽米町の優良経営体

#### ○事業を契機とした経営転換のポイント

事業実施期間中に営農をはじめたほうれんそう及びごぼうの経営について、畑地かんがい及び土づくりにより、ほうれんそうは品質安定、ごぼうは収量が1.5倍に向上しました。

また、ほうれんそうハウスは、営農開始時の7棟から平成22年度現在で15棟整備され、23年度以降は新たに2棟増設する計画となっています。

なお、ほうれんそう及びごぼうは、JA及び契約栽培により出荷されています。



#### 収量の推移 (Yield Trend) kg/10a

	営農開始 (H12)	事業後 (H20)
ほうれんそう	750	750
ごぼう	1,000	1,500



※ごぼうは、平成15年から作付。

編集  
後記

「もえび」へのご意見等、お待ちしております。  
また、「もえび」は東北農政局ホームページでもご覧になれます。  
<http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/sigenka/moebi/index.html>

表紙は、平鹿平野農業水利事業の受益地域である秋田県横手市の農事組合法人樽見内営農組合と地元の保育園児が、さつまいもの植え付けを行っている交流農園の写真です。